Cross Marketing

News Release

報道関係各位

2025年12月9日
株式会社クロス・マーケティング

生成AIの利用率は28%で、20代の4割はChatGPTを利用
子どもが生成AIを使うことに対し、利用させたい・させたくないは拮抗

－AIに関する調査（2025年）実態編－

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、2025年10月、全国20～79歳の男女3,000名を対象に「AIに関する調査（2025年）」を行いました。2022年11月にChatGPTが登場してから、急速にAI（人工知能）がビジネスや日常生活に入り込んできています。今回は実態編として、生成AIの利用率、初めて使用した時期、主な利用シーンと利用目的、子どもの生成AIの利用、今後生成AIができるようになってほしいことを分析しました。

■調査結果　（一部抜粋）

✓ **【生成AIの利用】** 月に1日以上生成AIを利用してる割合は28%で、若い世代ほど利用率はより高まる。初めて生成AIを利用したのは、「半年～1年以内」35%、「3か月～半年以内」24%が多く、この1年以内で初めて利用した人は73%を占める。＜図1＞利用している生成AIのツールは「ChatGPT」27%、「Gemini」14%、「Copilot」9%の3つに集中、それ以外のツールの利用は極めて少ない。「ChatGPT」の利用率は、20～40代までが高く、特に20代は41%に達する。＜図2＞

✓ **【生成AIの利用シーンと目的】** 生成AIを「主にプライベートや趣味」で利用している人は51%、「主に仕事や業務」は38%。＜図3＞仕事や業務の場合の利用は、「情報収集や調べもの」「文章の作成・添削」「文章の要約・翻訳」がTOP3で、次いで「アイデア出し、ブレインストーミング」「Excel関数の作成やプログラミング」「資料の構成案作成」。＜図4＞プライベートや趣味の場合の利用の上位は仕事や業務と同じ項目があがるが、5番手以降に「日常的な会話や雑談の相手」「悩み相談の相手」といったコミュニケーション相手としてのAI利用が続く。＜図5＞生成AIを利用することによって「作業時間が短縮され、時間に余裕ができた」「新しい知識やスキルを学ぶ機会が増えた」などポジティブにとらえている人が多かった。＜図6＞

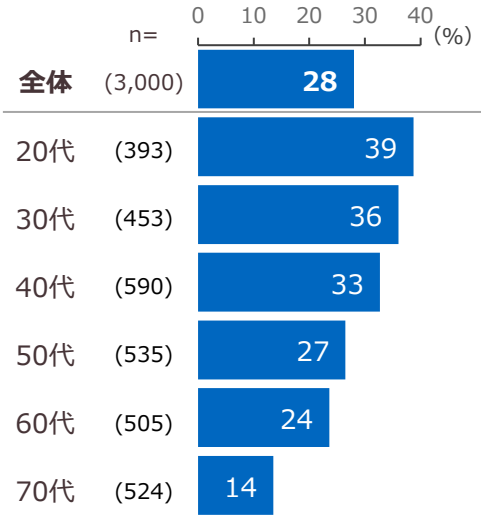
✓ **【子どもの生成AI利用について】** 同居している高校生以下の子どもに対しては、生成AIを「積極的に利用させたい」8%、「条件付きで、利用を許可したい」44%と合わせて52%は利用させたいと思っているものの「利用させたくない」が21%と一定数存在する。利用させたくない・規制したいものは、「宿題や課題をAIにやってもらう」「AIが生成した情報の鵜呑み」「個人情報の入力」など。＜図7＞

✓ **【今後生成AIができるようになってほしいこと】** 今後は、生成AIができるようになってほしいことに「リアルタイムで翻訳・通訳してくれる」「面倒な手続き、契約を代行してくれる」が3割台であがった。＜図8＞

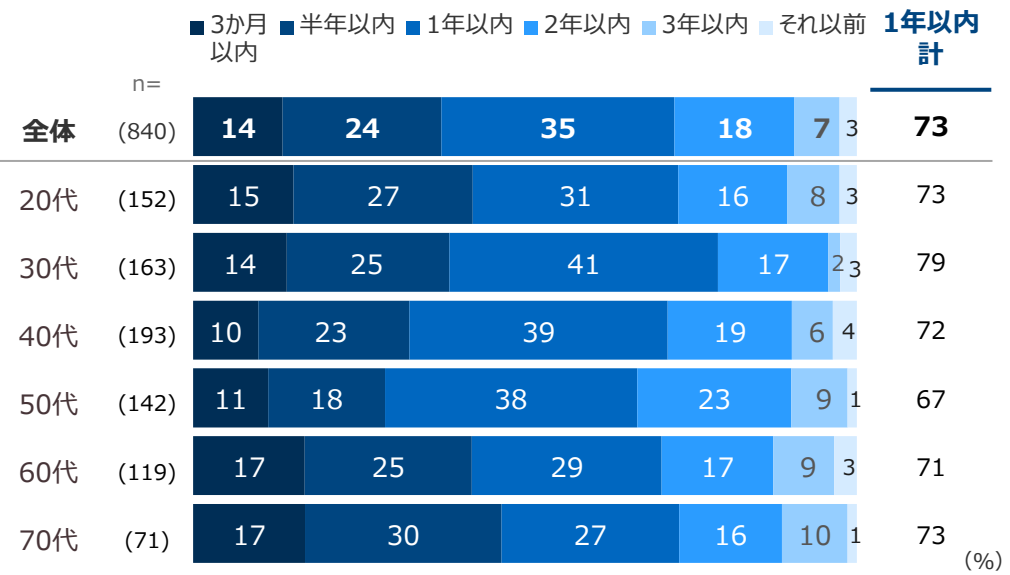
◆詳細情報は本レポートに掲載しております。　https://www.cross-m.co.jp/report/20251209AI

＜図1＞生成AI利用率と初めて使用した時期（単一回答）

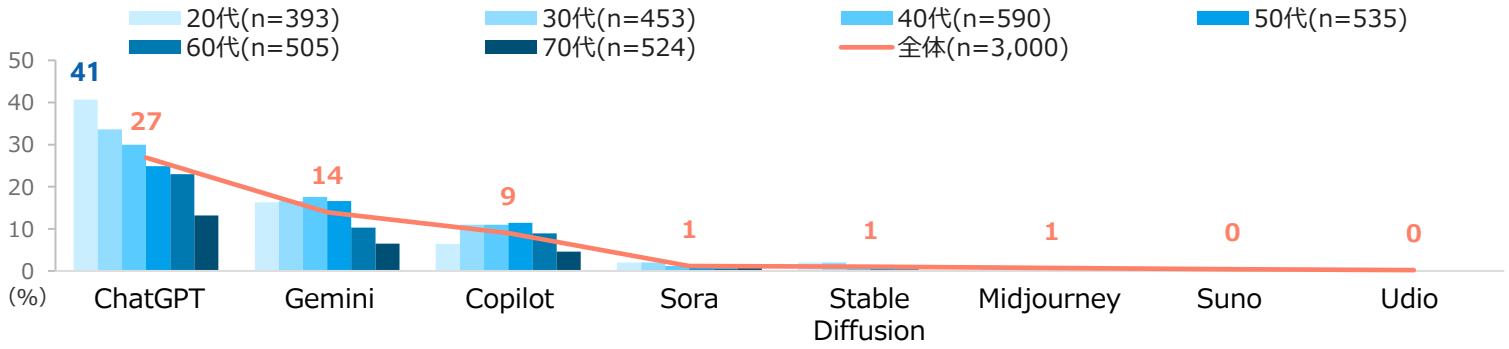
生成AIツールの利用率（月1日以上）



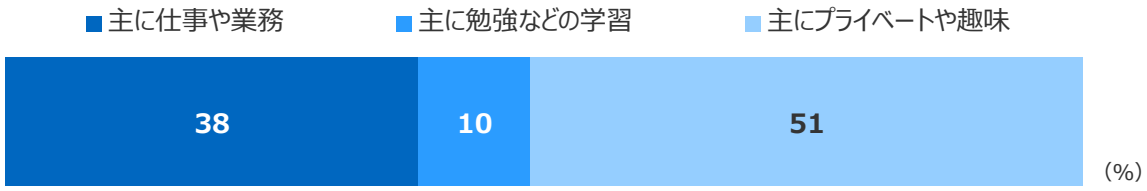
初めて利用した時期
※ベース：生成AIを月1日以上利用している人



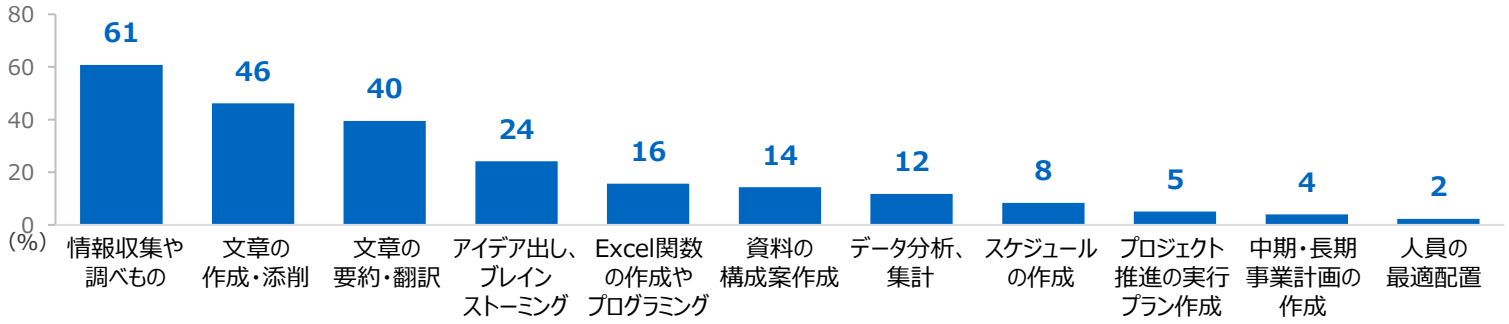
<図2> 生成AIツールの利用（複数回答）



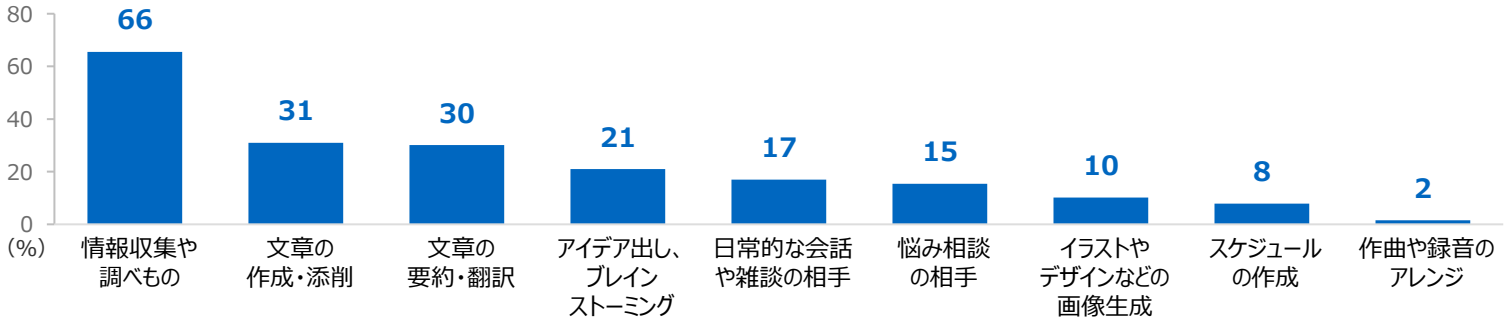
<図3> 生成AIの主な利用シーン（単一回答：n=840）※ベース：生成AIを月1日以上利用している人



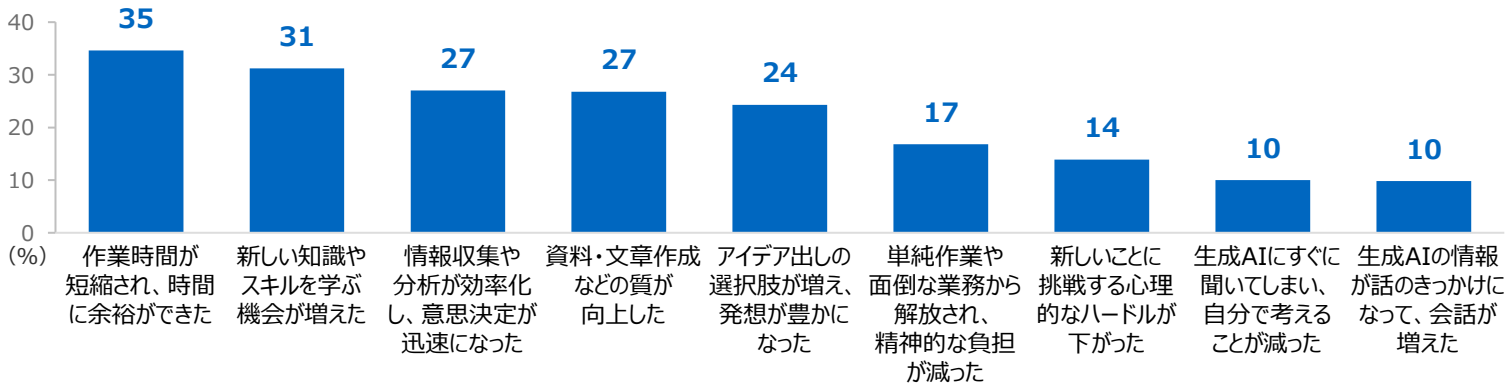
<図4> 生成AIの利用目的－仕事や業務（複数回答：n=645）※ベース：生成AIを月1日以上利用している有職者



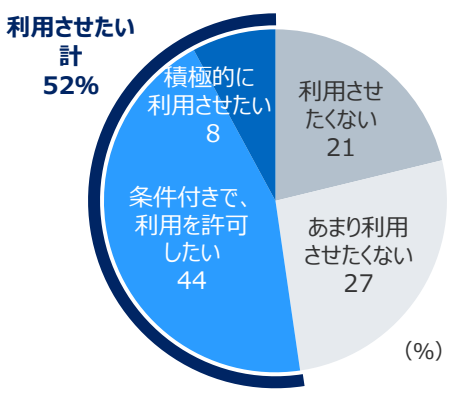
<図5> 生成AIの利用目的－プライベートや趣味（複数回答：n=840）※ベース：生成AIを月1日以上利用している人

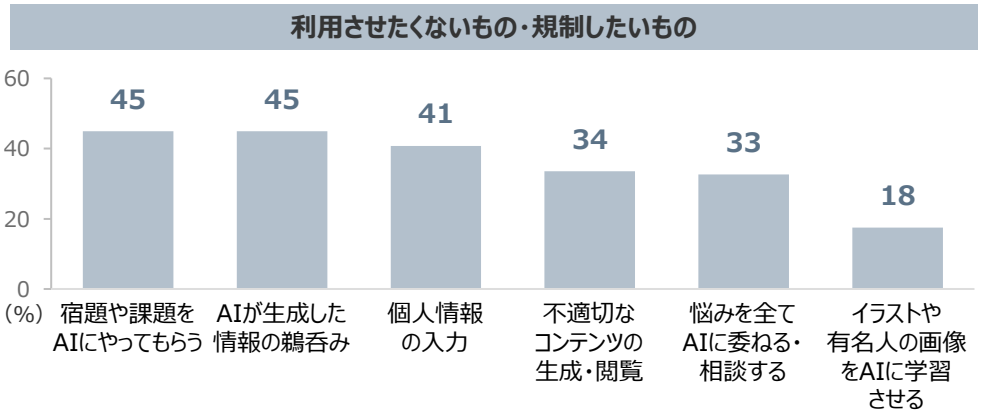


<図6> 生成AIを利用することによる変化（複数回答：n=840）※ベース：生成AIを月1日以上利用している人

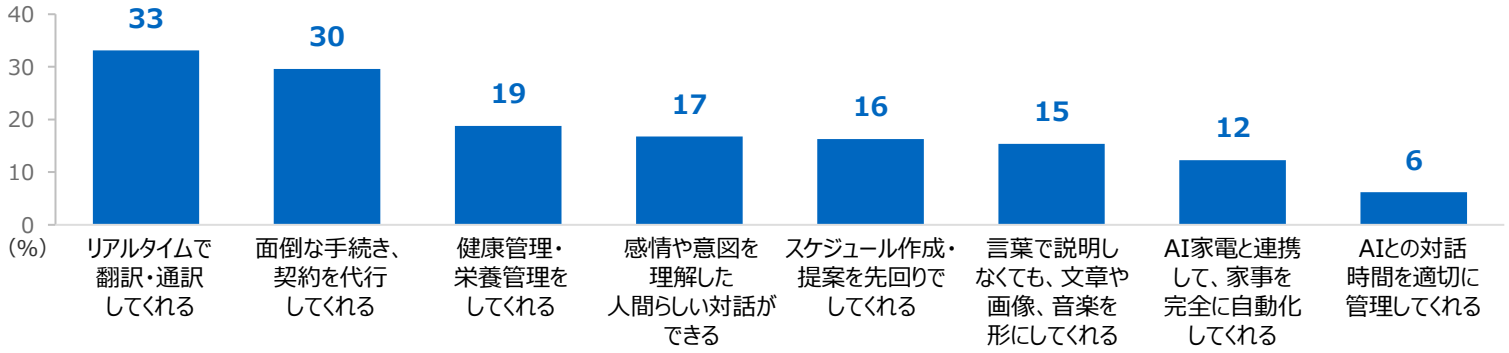


＜図7＞ 子どもの生成AIの利用について（単一回答・複数回答：n=457）※ベース：同居で高校生以下の子どもがいる人





＜図8＞ 今後、生成AIができるようになってほしいこと（複数回答：n=3,000）



■レポート項目一覧

□ 属性設問（性別/年代/居住地/婚姻状況/職業/同居家族/ポテンシャル・ニーズ・クラスター判別結果）
□ 調査結果サマリー

▼調査結果

□ 普段利用する情報機器
□ 1日あたりのネット利用時間（平日/休日）
□ SNSの利用状況（閲覧するもの/発信や投稿もするもの）
□ 新しい商品やサービスに対する考え方・行動
□ 自宅で利用しているAI機器
□ 今後欲しいと思っているAI機器
□ AI商品・サービスの利用頻度/利用目的
□ 生成AIツールの認知状況（知っているもの/使ったことがあるもの）
□ 生成AIツールの利用頻度
□ 生成AIツールを初めて利用した時期
□ 生成AIツールの利用シーン
□ 生成AIツールの利用用途（仕事/学習/プライベート）
□ 生成AIツールの利用後の変化
□ 生成AIツールの有料プランの加入状況/加入理由
□ 生成AIツールを利用して良かった点・便利な点（自由回答抜粋）
□ 生成AIツールを利用して困った点・不便な点（自由回答抜粋）
□ 生成AIツールを利用しない理由
□ 生成AIツールに関する情報源
□ 子どもへの生成AIツールの使用意向
□ 子どもに使わせたくない、規制させたい生成AIツールの内容
□ 生成AIツールで今後できるようになってほしいこと
□ 生成AIツールに解決してほしい課題や悩み

▼ポテンシャル・ニーズ・クラスター（PNCL）について

◆レポートのダウンロードはこちらから　https://www.cross-m.co.jp/report/20251209AI

■調査概要

調査手法　：インターネットリサーチ
調査地域　：全国47都道府県
調査対象　：20～79歳の男女
調査期間　：2025年10月27日（月）～28日（火）
有効回答数：本調査　3,000サンプル
※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】
会社名　：株式会社クロス・マーケティング　https://www.cross-m.co.jp/
所在地　：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
設立　：2003年4月1日
代表者　：代表取締役社長兼CEO　五十嵐 幹
事業内容：マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルテーション

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆
広報担当：マーケティング部　TEL：03-6859-1192　FAX：03-6859-2275
E-mail　：pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»
本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
＜例＞「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」